ウォーキングだより NO. 214

2023.5 月

発行：スポーツ連盟三重　ウォーキングクラブ　　発行責任者：井岡大義

○4 月の例会報告

◇29 日(土) 高島市・メタセコイア並木道

【参加者】浅尾、和泉、井岡(智)、井岡(大)、奥山、川北、北川、木村、清水、仲、西村、新田、東出、別所、丸林、宮本、山中　　計 17 名

お天気にも恵まれ、鈴鹿、津 高茶屋方面からの参加者が亀山駅に集合。8 時 03 分発で柘植、草津、山科を乗り継ぎ、高島市マキノまで約 3 時間、1 名は名古屋から米原経由で参加。マキノ駅から二人はコミュニティバスで、他 11 名は約 2km 位歩いて昼食会場の高島市農業公園施設（マキノピックランド）

へ向かいました。昼食会場で、車で来られた 4 名と合流してプチリッチな食事を済ませ、本日のメイン「メタセコイア並木」を歩きました。新緑の中、クリ、ブルーベリー、ブドウの木々を眺めながら知内川ぞいを、所々遠くにメタセコイアの並木を見ながら朝集合したマキノ駅へ向かいました。電車の時間が 1 時間に 1 本ということもあって時間を気にしながら無事 2 時 50 分発で帰路につきました。乗り鉄にとっては本当に楽しい 1 日でした。

追伸）　マキノ駅名がカタカナの由来について、平成の合併で町名を付ける時、マキノスキー場、マキノ高原温泉と古くからカタカナ名のついた施設等があったので町名、駅名、学校等すべてにマキノと付けられたそうです。それとメタセコイアが有名になる前からクリが多く作られていたのでその風よけの防風林として植えられたのがいつしか観光地になったという話でした。新緑の時も良かったのですが秋（11 月末～12 月始め）の赤いメタセコイア、冬の雪景色、少し行くと海津の街並み、海津大崎の桜並木と季節を問わず行ってみるのも良いのではないでしょうか。又行きましょう。ご参加頂いた皆様本当にありがとうございました。　　（清水まりえ）

○5 月の例会報告

◇5 日(金・休) 美杉・伊勢本街道　山菜てんぷら

【参加者】池田、越後、井岡(智)、井岡(大)、上野、岡田、木村、辻岡、仲、西村、新田、濱口(和)、濱口(安)、東出、別所、丸林、宮本　　計 17 名

恒例の美杉・山菜テンプラ例会も今年で９回目となり、みな手慣れたものでした。

9 時に伊勢奥津駅に集合し、13 名は先に出発し、北畠神社横の駐車場へ車を置きに行く運転手組 3 名は後から追いかけました。山菜を収穫しながらのぶらぶらウォークのため正念寺の前で合流できました。首切り地蔵、腰切り地蔵に込められた昔の旅人の難儀を思いながら進み、10:40 飼坂峠に到着。きれいな石楠花の花が迎えてくれました。一休みして峠を下り、「ホトトギスの水」案内板の横を通り国道と並走する山道の所でタケノコを発見、いくつか収穫できました。11:40 無事、北畠神社横の東屋に到着、お待ちかねのテンプラ宴会となりました。イタドリ、フキ、ヨモギ、お茶、

飼坂峠

山椒、柿の葉、筍、せり、ドクダミ、コゴミ、コシアブラ等々、皆とても美味しかったです。山菜テンプラに充分満足後、霧山城に登山する組（7 名）と残って片付けする組に分かれました。登山組は 1 時間 20 分ほどで下山し、皆車の乗り合わせをして伊勢奥津駅へ向かいました。
素晴らしい上天気で汗ばむほどの陽気に恵まれ、大満足の山菜テンプラ例会でした。　　(井岡大義)

◇14 日(日) 15(月) 一泊遠出企画・徳島

【参加者】穴見、池田、石田、和泉、伊藤(孝)、井岡(智)、井岡(大)、上野、岡田、小田巻、北川、木村、辻岡、仲、西村、新田、藤崎、東出、別所、丸林、宮本、山中、米倉　　計 23 名
【14 日】大歩危峡観光遊覧船乗り場[遊覧船観光] ―祖谷のかずら橋―阿波の土柱―徳島のホテル
【15 日】眉山(登山道またはロープウェイ)・・・阿波踊り会館(公演)―大鳴門橋（渦潮の道）

一泊遠出企画・徳島は 2020 年 5 月に計画していましたが、新型コロナ感染拡大のため中止となり、今年、3 年ぶりに実行できました。

過去 12 回の一泊遠出企画は天候に恵まれていましたが、天気予報は 2 日とも雨。出発時にも雨で、今回は雨を覚悟していましたが、なんと 14 日は行く先々で、バスを降りた時には雨はやみ傘は不要で 15 日は朝から青空の上天気と、奇跡的な幸運に恵まれました。

7:10 分、大型バスで河芸駐車場を出発。バスの中で弁当をいただいて 12:20 分、大歩危峡観光遊覧船乗り場に到着。船頭さんの案内で約 30 分の大歩危峡観光遊覧を楽しみました。奇岩や巨岩が連なる光景を間近で見て自

然のパワーに驚嘆するのみでした。次に平家落人伝説ゆかりの橋で、追っ手から逃げるためにいつでも切り落とせるように周辺の山に自生するシラクチカズラで橋を架けたのが始まりといわれる祖谷のかずら橋へ。　長さ 45m の吊り橋を渡りましたが、スイスイ渡る人、おっかなびっくりでこわごわ渡る人、様々でしたが、怖かったという人が多かったようです。徳島に戻る途中で〖阿波の土柱〗へ寄りました。阿波の土柱は 100 万年前の地層が大気や雨に侵食されてできた巨大な断崖で、土壁がカーテンのひだのように連なって見え、雄大な自然の芸術品に皆圧倒され大感激でした。夜は徳島のホテルで楽しい時を過ごしました

阿波の土柱

15 日はホテルを 8:35 に出発し眉山に登りました。眉山は、その美しい姿から「万葉集」にもうたわれている標高 290m の山です。ロープウェイ組と別れて 13 名はまず 400 段階段を登ってから急坂に挑みました。喘ぎあえぎ登り 9:40 無事山頂に到着。山頂からの景観は素晴らしく登頂の疲れを忘れさせてくれます。下山後、11 時から阿波踊り会館で阿波踊りの公演を楽しみました。阿波踊りの解説や伴奏具の説明、また実演と素晴らしく勉強にもなりました。観客にも演技指導があり、我々も躍らせてもらいました。皆大喜びでした。フランスからのお客さんが多いのにもびっくりでした。ホテルに戻り昼食後 13:10 分、ホテルを出発し帰路に。途中、大鳴門橋で遊歩道「渦潮の道」を歩きました。「渦潮の道」は大鳴門橋の橋桁に設けられた全長 450m の遊歩道で周りの絶景を眺めながら歩き、中央展望室のガラス張りの床から 45m 下の鳴門海峡を俯瞰しましたが、残念ながらうず潮は見られませんでした。その後は順調に走行し、6 時過ぎに津に帰着しました。大満足の 2 日間でした。　（井岡大義）

眉山山頂にて

◇19 日(金) 東青山四季の里　　雨で中止

○6 月の例会　集合場所・時間

◇5 日(月) 知多・オレンジライン

集合場所・時間：名古屋発 9:41 の河和行きに乗ります　要弁当

近鉄津発 8:16 白子発 8:27 が名古屋 9:25 着です。切符は「河和口駅」まで買います。三河湾から伊勢湾まで知多半島を横断するオレンジラインを歩きます。アップダウンの少ない約 11 キロで、帰りは知多奥田駅から名鉄に乗ります。

◇11(日) 伊勢街道②鈴鹿宿→河芸

集合場所・時間：若松発 9:19 で鈴鹿市駅へ　要弁当

近鉄津発 8:56 白子発 9:11 が伊勢若松着 9:15 です。切符は鈴鹿市駅まで買ってください。伊勢街道シリーズ第二弾で豊津上野駅まで歩きます。平坦な 15 キロで途中いくらでも逃げ道がありますのでプラチナ組でも参加可能です。

◇24 日(土) 彦根佐和山城・彦根城

集合場所・時間：JR 亀山発 8:03、関発 8:10 に乗ります　　要弁当

柘植、草津を経由して彦根に向かいます。切符は彦根まで購入してください。昨年 7 月に予定していて雨で中止になったコースです。「治部少輔(石田三成)に過ぎたるものが二つあり、島の左近と佐和山の城」と謳われた佐和山城をめぐった後、国宝彦根城、名勝玄宮園も散策します。プラチナ組も参加可能です。

◇28 日(水) 美杉・日神西浦コース

集合場所・時間：9:30 道の駅御杖に集合　要弁当

車の乗り合わせで行きます。なだらかな上り、急な下りと歩き応えがある高低差 510m、約 10.5 キロの健脚コースです。途中オプションの三つ岩からの眺望は見事で、あの大洞山が眼前にせまります。

次回運営委員会　　6 月　20 日　（　火　）（　p.m.3 時　）　　河芸井岡宅